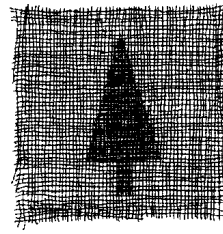
ことばの探偵

ことばの探偵

ちくま文学の森 14

筑摩書房



ことばの探偵〈ちくま文学の森14〉

一九八八年十二月二十日　第一刷発行
一九九七年　二月　十日　第三刷発行

編　者　安野光雅（あんの・みつまさ）
森毅（もり・つよし）
井上ひさし（いのうえ・ひさし）
池内紀（いけうち・おさむ）
柏原成光

発行者
発行所　株式会社　筑摩書房
東京都台東区蔵前二―五―三　〒一一一
振替〇〇一六〇―八―四一二三
〇四八―六五一―〇〇五三（サービスセンター）

案　内
装　本　安野光雅
印刷所　三松堂印刷
製本所　鈴木製本所

本書の定価はカバーに表示してあります。
落丁本・乱丁本はお取りかえいたします。
©M. ANNO T. MORI H. INOUE O. IKEUCHI
1988 Printed in Japan
ISBN4-480-10114-4　C0393

目次

狂詩 巡査行 …… サッカレ 平井呈一訳 …… 2

がまの油口上 …… 永井兵助演 …… 5

家族混線曲 …… 中田ダイマル・ラケット演 …… 13

一ト目上り …… 春風亭柳橋演 …… 23

千早振る …… 三遊亭小圓朝演 …… 41

エステル …… フィッシェ兄弟 堀口大学訳 …… 57

うわさ／ブダペスト風説便覧 …… モルナール 徳永康元訳 …… 67

南北戦争式電話番号記憶法 …… サーバー 西田実訳 …… 91

三人の黙示録の騎士 …… チェスタトン 富士川義之訳 …… 99

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

七……花田清輝……127
二銭銅貨……江戸川乱歩……163
文字禍……中島敦……195
予の自伝……堺利彦……207
山下の話はまんざいみたいだ……山下清……223
ベースボール……正岡子規……237
佐々木味津三の「旗本退屈男」……三田村鳶魚……249
比較言語学における統計的研究法の可能性について……寺田寅彦……267

シとチ／ン……幸田露伴……295
カタカナ随筆（ズイヒツ）抄……伊丹万作……311
便宜（べんぎ）と実例……中野重治……319
日本語と酒と……臼井吉見……331

指揮者カリナの話……チャペック　保川亜矢子訳……337
三文作家……アイリッシュ　宇野利泰訳……349
藪（やぶ）の中……芥川龍之介……399
刎頸（ふんけい）の交はり……バルザック　神西清訳……417
東は東……岩田豊雄……443

スミマセン　解説にかえて……井上ひさし……478

ことばの探偵

狂詩 巡査行

サッカレ
平井呈一訳

三更風雨強真闇
唯見徘徊街上者
真夜空街風蕭蕭
市場街降頻雨中
此時従向居酒屋
弊衣蓬髪鼻向空
窃尾行聴両人語
語唯是鉄道之株
一人乞食語友曰
友答曰「予誂二十

町家悉閉戸就寝
独酔漢無宿者耳
只聞査公靴朴爵
煨芋売濡イ路傍
襤褸紳士両個現
肩斬風威気揚揚
驚矣此両個乞食
疑耳擦眼猶能聴
「貴公購証券幾何」
然会社不売一株」

於レ此前者嘲笑曰
予常注二文五百株一
友嗤二前者暴誇一曰
前者低声答レ友曰
何能得レ送二注文状一
「予亦不レ備二払込金一
君不レ見彼処煨芋煙濛濛
両人共往啖二煨芋一
猫杓子皆鉄道株
鉄道文明万万歳
文明世強盗横行

「貴公至極不粋漢
会社即時認二申込一」
「奈二何貴公不レ持レ株」
「予初頭無二郵券代一
友悵然答二前者一曰
依会社謝二絶株主一
購二彼個一而換二晩餐一」
噫鉄道株鉄道株
鉄道新設文明展
文明世乞食無レ憂

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

がまの油口上

永井兵助演

八木心一編

永井（長井）兵助は居合抜きの名人として知られていた。所は浅草の奥山、大きな五つ紋を染め抜いた黒木綿の袷の着ながしに朴歯の下駄といういで立ち。見物人の足元にステッキで円を描いて、「さあ、お立ち合い」と呼びかける。正面の刀架にかけている刀をとって、一瞬、気合いをかけるが早いか居合抜きを演じてみせる。しかし、それが専業というのではない。歯痛どめの薬や膏薬を売る。人寄せの手段としての居合抜き。名調子で「陣中膏蟇の油」を宣伝して、声がかかると貝殻入りの膏薬を売った。落語の「ガマの油」で全国にひろまった。

さあさあお立ち合い。御用とお急ぎでなかったら、ゆっくりと聞いておいで見ておいで。遠出山越えは笠の内、聞かざる時には物の出方、善悪、黒白がトント分らない。山寺の鐘がゴォーンゴォーンと鳴るといえども、童子来たって鐘に撞木を当てざれば、打たれる鐘が鳴るのか打つ撞木が鳴るのかトントその音色が分らぬが道理だ。

お立ち合い。さて手前ここに取り出しましたるこれなるこの棗、この中には一寸八分唐子発条の人形が仕掛けてある。我国に人形の細工師数多ありといえども、京都にては守随、大坂表にては竹田縫之助近江大掾は藤原朝臣、この二名をおいて上手名人はござりませぬが、手前のはこれ近江津守の作じゃ。咽喉には八枚の小鉤を仕掛け、背中には十と二枚の歯車が組込んでござりまする。この棗をば大道に据置くならば、天の光を受け地の湿りをば吸い上げまして陰陽合体。パッと蓋を取る時には、ツカツカツカツカと進むが虎の小走り虎走り、後へ下がれば雀の独楽取りは独楽返しに孔雀霊鳥の舞と十二通りの芸当がござりまする。

いかに人形の芸当が上手であろうとも、投げ銭・放り銭はお断りじゃ。手前大道にて未熟な渡世はしているけれども、憚りながら天下の町人、泥のついた投げ銭・放り銭をバタバタバタバタ拾ったとあってはこの男がすたる。しからばお前、投げ銭・放り銭貰わないで何をもって商売としているのかと、問われるお方があるかもしれないけれども、これなるこの看

板示すがごとくに筑波山妙薬陣中膏がまの油。このがまの油という膏薬をば売りまして生業として致しておりまするで。

さてさて。いよいよ手前ここに取り出しましたるがそれその陣中膏はがまの油だ。だが蟇々と言ったって、そこにもいるここにもいるという物とはちと物が違う。ハハア蟇かいなんだ蟇なんかなら俺んちの縁の下流し下にぞろぞろいる。裏の竹藪・ガサ藪にだって蟇なんかいくらでもいるなんていう顔している方が居られるけれども、お立ち合い。あれは蟇とは言わないよ。ただの引蛙・疣蛙・御玉蛙か雨蛙青蛙何の薬石効能はござりませぬけれども、手前のはこれ四六の蟇だ、四六の蟇。さてしからば四六五六というのはどこで見分けるかっていうと、この肢の指の数。前肢の指が四本で後肢の指の数が六本。これを合わせましては蟇鳴噪は四六の蟇。またこのがまのとれるのが、五月・八月・十月なるをもって別名これ、五八十は四六の蟇だよ、お立ち合い。

サテしからばこの四六の蟇の棲む処。一体いずこなりやと言うなれば、これより遥か北の方、北は常陸の国は筑波の郡、古事記・万葉の古から関東の名峰とうたわれ「筑波嶺の峰より落つる男女川恋ぞつもりて淵となりぬる」と陽成院の古から歌でも有名なこの筑波山の麓、麓は臼井・神郡・館野・六所・沼田・国松・上大島・東山から西山にかけまして、ゾロゾローと生えておりまする大葉子と言う露草をば喰って育ちまするで。

さてしからば、この蟇からこのがまの油の膏薬を採るにはどういう風にするかって言いますと、まずはノコタリノコタリ急ぎ足、木の根・草の根踏みしめまして山中深く分け入り捕

え来ましたるこの蟇をば、四面に鏡を張り、その下に金網・鉄板を張る。その箱の中にこの蟇を追い込む。サア追い込まれたガンマ先生己の醜い姿が四方の鏡にバッチリ写るからたまらない。我こそは今業平と思いきや鏡に写る己の姿の醜さに、「ハハア、俺という奴は何という醜い姿であろう」と己と己が姿に打ち驚きまして、御体から油汗をばタラーリタラーリと流しまするで。その流した油汗を下の金網から抄き取りまして、三七は二十と一日の間、柳の小枝をもちまして、トロリ・トロリ・トローリと煮炊きしめ、赤い辰砂・椰子油・テレメンテイナ・マンテイカという唐・天竺・南蛮渡りの妙薬をば合わせまして、よく練り混ぜて作ったのがこれぞこれこの陣中膏がまの油の膏薬だ。お立ち合い。これにてがまの油の造り方お分りでござりまするかな。

ウーン。造り方は分ったけれども、どうせ大道商人のお前のがまの油なんかろくな効目なんかあるまいと思っているような顔をしている方がおられるようだけれども、膏薬・薬というのは効能が分らなかったら何の値打もねえよ。

このがまの油の効能はと言うなれば、まずは湿疹に雁瘡だ。火傷・楊梅瘡はひびに霜焼・あかぎれ。前に廻ればインキンタムシ、後へ廻って肛門の病。肛門の病というのをもっと詳しく言うなれば、出痔に疣痔・走り痔・切レ痔に脱肛に鶏冠痔。鶏冠痔というのは雞の鶏冠のように真赤になる痔で痔の親分だよ。だが手前のこのがまの油の膏薬をばグッとお尻の穴に塗り込むというと、三分間たってピタリと治る。まだある。大の男が七転八倒畳の上をゴ

（1）典型的美男の形容。

ロンゴロンと転って苦むのがこれこの虫歯の痛み。だが手前のこのがまの油をば紙に塗って上からペタリと貼るというと、皮膚を通し肉を通して歯茎に滲みる。また小さく丸めましてアーンと大きな口開いて歯の空洞にポコンと入れるというと、これまた三分間熱い涎がタラリタラーリと出ると共に歯の痛みピタリと治る。まだあるよ。エー。槍傷・刀傷・鉄砲傷・擦り傷・掠り傷一切。まだある。エー。どうだ。お立ち合いのお宅に小さい赤ちゃんはいらっしゃるかな。お孫さんじゃ。赤ん坊の汗疹・爛れのような皮膚の病には、手前のこのがまの油の入っておりましたる明き箱・空箱・潰れ箱この箱を見せただけでもピターリと治る。お立ち合い。こんなに効目あらたかなこのがまの油だけれども、残念ながら効かねえものも四つある。その四つ何かと言うと、まずは恋の病と浮気の虫。あと二つが禿と白髪に効かねえよ。ハハア。油屋。お前効かないものなんか並べてきて、もうがまの油の効能というのは終りになったんだろうなんて思ってる方がおられるけれども、そうではないよ。

も一つ大事なものが残っている。刃物の切味をば止めて御覧に入れる。ハイッ。手前ここに取出したるは、これぞ当家に伝わる家宝にて正宗が暇に飽かして鍛えた天下の名刀、元が切れて中切れない、中は切れたが先切れなかったなんていうお立ち合いのお宅にあるような鈍刀・鈍物とは物が違う。実に良く切れる。抜いて御覧に入れる。エイ抜けば夏なお寒き氷の刃。津瀾顚頓玉と散る。どれ位切れるかここに一枚の紙があるから、一つ切って御覧に入れる。ハイ。この紙には種も仕掛もございませぬ。ハイ。一枚が二枚。二枚が四枚。四枚が八枚。八枚が十六枚。十六枚が三十二枚。三十二枚が六十四。六十四枚が一足と二十八枚。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com